

SONAERU

備える

■毎月15日は川崎市民地震防災デーです。

NO.70 楽しい夏とともに、
暴れん坊もやっつけてくる!!



備える。

1990年(平成2年)7月31日 発行
発行所 川崎市
編集所 土木局防災対策室
〒210川崎市川崎区宮本町1番地
TEL.(044)200-2111内線2841

日本の気象を語る時、台風にふれないわけにはいきません。台風とは、北太平洋の熱帯地方および南シナ海に発生する熱帯低気圧の一種で、中心付近の最大風速が毎秒17メートル以上になったものをいいます。台風は年間28個くらい発生するといわれていますが、このうち、日本に上陸して、被害をもたらすのは、4つか5つくらいです。

台風の一生涯は短く、暴れに暴れまくった台風でも、2週間くらいで消滅してしまいます。なかには、発生してから1日も経たないうちに消えてしまうものもあります。短い一生なら思いっきり暴れてやろうというわけか、台風の暴れようは大変なものです。

まず、ものすごい勢いで吹き荒れる暴風。これは人間や建物に直接被害を与えるばかりでなく、看板などを飛ばしたり、樹木を倒したりすることによって被害を与えます。また電車や自動車も風圧のため走りにくくなり、ときには転覆させられてしまいます。その他にも強風で電線が切れて停電することも珍しくありません。

このような台風の被害は、どれも私たちが過去に経験していることです。もう一度、台風の恐ろしさを家族全員の頭に入れておきましょう。

◎台風に備えた住まいのチェックポイント

- (1)電線のたるみや破損はないか。
- (2)テレビのアンテナは、しっかり固定されているか。
- (3)屋根にずれたり、めくれたりしてるところはないか。
- (4)雨戸にゆるみ、破損がないか。
- (5)ガラス窓にひび割れはないか。

◎台風情報キャッチのポイント

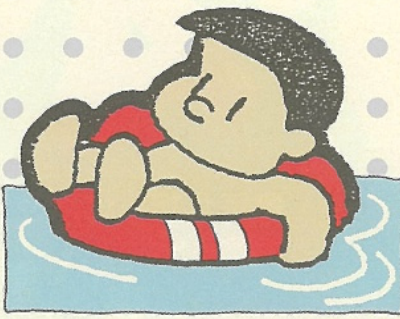
- (1)発生の日と場所、今日までの経過。
- (2)現在の位置。
- (3)中心気圧および中心付近の最大風速、暴風圏のひろさ。
- (4)進行方向と進行速度。
- (5)これからの進路の予想。

例えば、こんな場所で

こんなことが起こったら...

夏休みの行楽シーズンに向けて

夏休み、家を離れて遠出する機会が多くなります。日程や荷物、チケットといっしょに、災害や事故にあわないように、安全のための知識も身につけましょう。
たとえば、海辺にいるとき地震が起きたらどうしますか。山にいるとき雷にあつたらどうしますか。ほんの少しの油断が大きな事故につながるかもしれません。わずかな注意が身を守ります。夏休みを事故のないよう楽しくすごしましょう。



◎海辺にいるとき地震が起きたら

海辺にいるとき地震が起きて一番怖いのは津波です。地震のあとにゴロゴロと雷のような音が沖合から聞こえてきたり、急に海水が引いて潮位が下がったりしたら、津波の前兆なので高台へ避難しましょう。

◎高速道路を走行中に地震が起きたら

高速道路は耐震構造になっていますので、簡単に崩れることはありません。まず、車をコントロールしながら、素早く、しかしあわてずにスピードを落とし、左側に停車し、キーはつけたままで、徒歩で避難しましょう。

◎地下鉄に乗っているとき地震が起きたら

地下鉄の構造は地震に強く、関東大地震クラスの地震でも致命的な被害を受けることはありません。ただし、停電で一時的に暗闇になったり、側壁が崩れたりすることはあります。停電は一時的なもので、すぐ予備電源により非常灯がつきますので、あわてず乗務員の指示に従いましょう。

◎雷から身を守るには

高い所や、大きな木の近くを避け、金属性のものを身に着けず、姿勢を低くし、くぼんだ場所へ入りましょう。

9月1日は「防災の日」



川崎市総合防災訓練中央会場

今年、川崎市の中央会場を川崎区の川崎駅周辺に設け、市街地における同時多発型災害に対応した訓練を次のとおり行う予定です。

①高層住宅対策訓練

昨年、東京都江東区の高層マンションで起きた火災を教訓に自主防災組織を中心とした訓練を行います。

②大型店舗対策訓練

川崎駅東口駅前の大型店舗において、自衛消防隊による買物客の避難誘導を中心とした訓練を行います。

③地下街対策訓練

心理的な不安を誘発しやすい地下街において自衛消防隊を中心とした訓練を行います。

④繁華街対策訓練

個人商店の密集した繁華街において商店の従業員の皆さんを中心とした訓練を行います。

⑤体験訓練

富士見公園の市民広場において、実際に訓練を体験することによって、住民一人一人の防災行動力の向上を図ります。

主な体験訓練は、

- レスキュー体験
- 屈折車搭乗体験
- 放水体験
- 起震車体験
- 119通報体験
- 大声コンテスト
- 応急手当体験などです。

⑥イラン地震に見舞金を贈る

平成2年6月21日、午前0時57分頃(現地時間)イラン回教共和国でマグニチュード7.3の大規模な地震が発生しました。この地震による被害は、死者5万人以上、負傷者20万人以上と言われ、いくつかの町や村は壊滅的な被害を受けました。
川崎市では、この地震被害に対する見舞金として、イラン回教共和国へ100万円を贈りました。

奥さまに一言

ご注意ください。天ぷら油火災が多発しています。



天ぷら油火災を起こさないために、揚げ物はその場を離れない。ちよつとも離れるときは、必ず火を消す習慣を身につけましょう。また、コンロの回りはいつも整理整頓し、燃えやすい物は置かないようにしましょう。万一天ぷら油に火が入ったらどうしますか？



消火に水は禁物です。消火器・鍋ぶた・ぬれシート等で落ち着いて消火してください。確実に消火するためには、町内会で行っている防火訓練などに参加し、消火器の使用方法を身につけておきましょう。

まず！ガスの元栓を切る



●消火器で 粉末消火器は、油面をおおうように放射する。



●鍋ぶたで ふたは、鍋の手前からすべらすようにして、油面を密閉する。

災害ボランティア大活躍

宮前区のセイワ鷲ヶ峰特別養護老人ホームで、火災が夜間に発生したという想定で5月25日午後7時15分から8時30分まで消防訓練が実施されました。
この訓練は、昭和61年から始まり、毎年行われています。初めは、昼間の訓練でしたが昭和62年6月に東京都東村山市の「松寿園」の火災で多くのお年寄りが亡くなったのを機に夜間に訓練を行うようになり、訓練には、施設の関係者及び宮前消防署、宮前消防団の参加により行われましたが、このような施設には、自力で避難することが困難なお年寄りが多くいるため、地域の裨原団地自治会(会長 蛸木春代さん)のみならず、災害ボランティアとして毎回参加されています。今年も、担架をもち勇ましく救出にかけつける救出班、救護所で救出された人をや

